

⑥ 学生の自主活動

長崎市民の森 里山清掃ボランティア

長崎大学「やってみゅーでスク」に登録した学生が、地域と協同して様々な環境保全に取り組んだ活動の一環。22年度は11名参加。このほか、対馬で日韓の学生と一緒に海岸の清掃を行ったり、外人墓地清掃やエコ関係の行事に取り組むなどがある。

「やってみゅーでスク」環境美化活動

長崎大学「やってみゅーでスク」に登録した学生が、自主的に環境保全に取り組んでいる活動の一環。大学周辺の道路やバス停、植え込みなどを主に清掃活動を行い、地域の美化に寄与した。

実施は22年7月2日、学生7名と職員5名で大学裏門から浦上警察署前にかかる歩道および植え込みとバス停の清掃である。



学生サークル「っじゃすみん」のリユース市

長崎大学環境サークル「っじゃすみん」は、毎年3月にリユース市という企画を行っている。この企画は、長崎大学を卒業される方々から、不要になってしまった家具や、転居の際に移動させるのが困難である家電などの回収を行っている。それらの家具、家電の手入れや清掃を行って、長崎大学に入学される新入生の方々に、通常より安い価格で購入していただく、というのが一連のサイクルである。また、リユース市では、荷物の運搬の際に極力車を使用せず、リヤカーを使用して環境への負荷を低減させるように取り組んでいる。



チャリ再生法研究会の自転車再生

私たちは学内の放置自転車を修理し、もう一度利用できるようにするサイクルを廻しています。長崎市内には、自転車の利用者が少ないため、自転車を修理する場所がなかなかありません。学生は、自転車を修理できず放置してしまいます。そこで、自転車の修理も受け付けています。現在、4年生が4人、3年生が1人、2年生が2人、1年生が10人で活動しています。学内の放置自転車をなくし、もったいない精神を学生に伝えていけたらいいと思っています。



西浦上中央地区マップづくり

平成22年4月～7月に市社協と西浦上中央地区の要望で長崎大学「やってみゅーでスク」登録学生（12名参加）が一緒になって地域の危険箇所やさまざまな資源情報、そして環境情報を取り込んだ地域マップづくりに取り組んだ。

細かい路地まで足で情報を集め、途中では空き缶やゴミ回収も並行して行った。

こうして集めたマップ情報は、学生がパソコンで処理し、自分たちで地域環境地図をつくりあげた。

このことは社協の公報誌などを通じて報じられ、他の自治会からもその後、協力依頼が数件はあった。

